

WEST

BA

☐ Generate Collection

L5: Entry 51 of 58

File: JPAB

Mar 10, 1995

PUB-NO: JP407065242A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07065242 A

TITLE: TERMINAL PROVIDED WITH COUPON FUNCTION

PUBN-DATE: March 10, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUMOTO, MAMORU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU LTD

N/A

APPL-NO: JP05215310

APPL-DATE: August 31, 1993

INT-CL (IPC): G07G 1/12; G06F 17/60; G07B 1/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To issue a coupon ticket of this store timely and perform a discount process by simple device cost without using an advertisement expense by providing a coupon ticket issue information table in which coupon ticket issue information is registered.

CONSTITUTION: After the coupon ticket issue information sent from a host device 7 is registered in the coupon ticket issue information table 2, a coupon ticket issuing function 3 calculates the issue amount of a coupon ticket corresponding to matching issue conditions at the time of sale amount totalization by referring to the coupon ticket issue information table 2 and a printing function 4 prints a receipt 5 with a sales amount and the coupon ticket 6 with the issue amount. The coupon ticket 6 is printed and issued as well as the receipt 5, so that the coupon ticket of this store can be issued easily and timely by using the mechanism which prints the receipt 5. Further, the bar code of the coupon ticket 6 which is shown is read out and the discount process can also be performed.

COPYRIGHT: (C)1995, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-65242

(43) 公開日 平成7年(1995)3月10日

(51) IntCl ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 G 1/12	3 2 1 M			
G 0 6 F 17/60				
G 0 7 B 1/00	E			
	8724-5L		G 0 6 F 15/ 2I	3 1 0 Z
審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 7 頁)				

(21) 出願番号 特願平5-215310

(22) 出願日 平成5年(1993)8月31日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72) 発明者 松本 守

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 岡田 守弘

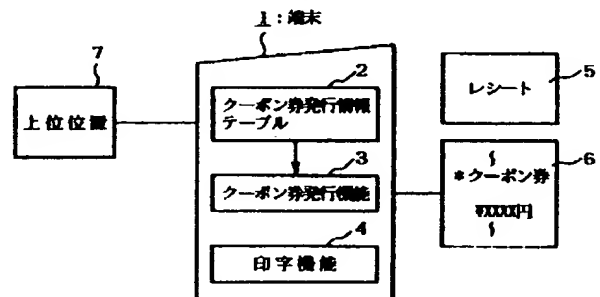
(54) 【発明の名称】 クーボン機能付端末

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、クーボン券の発行機能およびクーボン割引機能を設けたクーボン機能付端末に関し、簡易な設備投資、広告費用などを使わず、かつタイムリに自店のクーボン券を容易に発行可能にすると共にクーボン券の割引処理を簡易に可能にすることを目的とする。

【構成】 上位装置から送信されてきたクーボン券発行情報を登録するクーボン券発行情報テーブル2と、売上金額集計時に、クーボン券発行情報テーブル2を参照して合致する発行条件に対応するクーボン券6の発行額を算出するクーボン券発行機能3と、売上金額のレシート5を印字および上記発行額のクーボン券6を印字する印字機能4とを備えるように構成する。

本発明の原理構成図



【特許請求の範囲】

【請求項1】上位装置から送信されてきたクーポン券発行情報を登録するクーポン券発行情報テーブル(2)と、

売上金額集計時に、上記クーポン券発行情報テーブル(2)を参照して合致する発行条件に対応するクーポン券(6)の発行額を算出するクーポン券発行機能(3)と、

上記売上金額のレシート(5)を印字および上記発行額のクーポン券(6)を印字する印字機能(4)とを備えたことを特徴とするクーポン機能付端末。

【請求項2】上記印字機能(4)がクーポン券(6)に発行額を表示する記号を少なくとも印字またはバーコードで印字するように構成したことを特徴とする請求項1記載のクーポン機能付端末。

【請求項3】上記発行されたクーポン券(6)を上記売上金額集計時に提示されたことに対応して、当該クーポン券(6)のバーコード読み取りあるいは手入力した金額を売上金額から割り引いた後の合計額を算出し、この合計額をレシート(5)に印字するように構成したことを特徴とする請求項1および請求項2記載のクーポン機能付端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、クーポン券の発行機能およびクーポン割引機能を設けたクーポン機能付端末に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、小売業が商品の売上を促進するために、商品の買上げ時に提示すると当該商品の値段を割り引くクーポン券を発行する媒体として、チラシ広告、パンフレットなどのアレ印刷媒体に予め印刷し、顧客に商品の買上げ時や新聞折り込みとして配布していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来のアレ印刷媒体によってクーポン券を顧客に渡すと以下の問題があった。

【0004】(1) 企画より、クーポン券発行までに多くの時間が必要となり、タイムリーな販売促進効果が失ってしまうことがある。

(2) クーポン券発行に際し、広告・宣伝費が多く必要になってしまう。

【0005】(3) 全社企画のクーポン券しか発行できず、個別店舗企画のクーポン券を発行し難い。

(4) 小規模小売店では、発行費用の負担(チラシ広告代)が大きく、自店個別のクーポン券の発行が難しい。

【0006】(5) 広告配布の地域の顧客しか、クーポン券による割引を受けることができず、顧客へのサービスの格差が生じる。

本発明は、これらの問題を解決するため、簡易な設備投資、広告費用などを使わず、かつタイムリに自店のクーポン券を容易に発行可能にすると共にクーポン券の割引処理を簡易に可能にすることを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】図1は、本発明の原理構成図を示す。図1において、端末1は、商品の売上を集計してレシート5に印字したり、クーポン券6を印字したりするものであって、クーポン券発行情報テーブル2、クーポン券発行機能3、および印字機能4などから構成されるものである。

【0008】クーポン券発行情報テーブル2は、上位装置7から送信されてきたクーポン券発行情報を登録するものである。クーポン券発行機能3は、売上金額集計時に、予め登録されたクーポン券発行情報をもとにクーポン券6の発行額を算出するものである。

【0009】印字機能4は、売上金額をレシート5に印字および発行額や当該発行額のバーコードをクーポン券6に印字するものである。

【0010】

【作用】本発明は、図1に示すように、上位装置7から送信されてきたクーポン券発行情報をクーポン券発行情報テーブル2に登録した後、クーポン券発行機能3が売上金額集計時に、クーポン券発行情報テーブル2を参照して合致する発行条件に対応するクーポン券6の発行額を算出し、印字機能4が売上金額のレシート5を印字および発行額のクーポン券6を印字するようにしている。

【0011】また、クーポン券6に発行額を表示する記号を少なくとも印字またはバーコードで印字するようにしている。また、発行されたクーポン券6を売上金額集計時に提示されたことに対応して、当該クーポン券6のバーコード読み取りあるいは手入力した金額を売上金額から割り引いた後の合計額を算出し、この合計額をレシート5に印字するようにしている。

【0012】従って、レシート5を印字する際に併せてクーポン券6を印字して発行することにより、レシート5を印字する機構を用いて簡易かつタイムリに自店のクーポン券を発行することが可能となると共に提示されたクーポン券5のバーコードを読み取って割引処理を行なうことが可能となる。

【0013】

【実施例】次に、図2から図6を用いて本発明の実施例の構成および動作を順次詳細に説明する。

【0014】図2は、本発明の1実施例構成図を示す。図2において、端末1は、上位装置7からLANによって接続された複数の端末のうちの1つであって、商品の売上を集計したり、レシート5およびクーポン券6を印字するものであり、クーポン券発行情報テーブル2、クーポン券発行機能3、および印字機能4などから構成されるものである。この端末1は、例えばPOS、レジで

ある。

【0015】クーポン券発行情報テーブル2は、上位装置7が保持するクーポン券発行情報71をLANを介して送信されてきたことに対応して、登録するものである。このクーポン券発行情報テーブル2には、後述する図5に示すように、クーポン券を発行する発行条件、クーポン券金額、およびクーポン券の使用条件などを登録したものである。

【0016】クーポン券発行機能3は、商品の売上金額集計時に、予め登録されたクーポン券発行情報テーブル2を参照してクーポン券6の発行額を算出するものである。印字機能4は、商品の売上金額をレシート5に印字したり、算出した発行額や当該発行額のバーコードをクーポン券6に印字したりなどするものである。

【0017】レシート5は、商品の個別の金額、集計金額、消費税額、合計金額などを印字したものである（図6参照）。クーポン券6は、商品の割引額および当該割引額のバーコードを印字したものである（図6参照）。このクーポン券6は、レシート5と同一の印字機構を用いて印字し、個別にカットあるいは両者を一体にカットする。この印字して発行したクーポン券6を顧客に発行する。顧客は次回来店時に、このクーポン券6を提示してその金額だけの割引を受けることができる。

【0018】上位装置7は、複数の端末1をLANを介して接続し、統括管理するものであって、ここでは、クーポン券発行情報を各端末1に送信してクーポン券発行情報テーブル2に登録するものである。この上位装置7内のクーポン券発行情報71は、当該上位装置5に接続した情報入力装置8から手入力によって入力したり、本部システム9から回線を介して通知されたものである。

【0019】情報入力装置8は、各種情報を入力するものであって、ここでは、クーポン券発行情報を入力して上位装置7中のクーポン券発行情報71として登録するものである。

【0020】本部システム9は、複数の上位装置7を回線を介して統括制御するものであって、ここでは、クーポン券発行情報を回線を介して上位装置7に送信し、クーポン券発行情報71として登録するものである。

【0021】次に、図3に示す順序に従い、図2の構成の動作を詳細に説明する。図3において、S1は、端末（POS、レジ）1の電源をONにする。S2は、上位装置7がクーポン券発行情報を送信する。

【0022】S3は、S2で送信されてきたクーポン券発行情報を保存する。これは、端末1が上位装置7からLANを介して送信されてきたクーポン券発行情報をクーポン券発行情報テーブル2に登録する。

【0023】S4は、商品登録する。これは、後述する図4に示すように、商品のバーコード登録して商品の売上を読み取る。この際、以前に発行したクーポン券の提示が顧客からあったときは図4に示すように、当該ク

ポン券の金額をバーコードから読み取るあるいは手入力して集計金額から減算する。

【0024】S5は、小計ボタンが押下されたことを検出し、以降の処理に進む。S6は、買い上げ金額集計し、表示する。例えば後述する図6の例に示すように、合計“¥5,150”（円）と表示する。

【0025】S7は、レシート印字する。これは、S6で集計して表示した合計などをレシートとして、例えば図6のレシート5に示すように印字する。S8は、クーポン割引キー押下か判別する。YESの場合（即ちS4の商品登録時にクーポン割引を行なわないシステムであって、クーポン割引キーが押下された場合）には、S7でクーポン割引無しのレシート印字した後に続けて、S9からS12によって、クーポン割引した合計額（合計額からクーポン割引額を減算した後の合計額）を印字する。一方、NOの場合には、S13に進む。

【0026】S9は、クーポン金額を入力する。これは、顧客が提示した、以前に発行したクーポン券のバーコード読み取りあるいは手入力によって割引き金額を入力する。

【0027】S10は、クーポン割引額を表示する。S11は、合計額からクーポン割引額を減算した合計額を表示する。S12は、合計額からクーポン割引額を減算した合計額を印字する。これらにより、S7のレシート印字に続けて、クーポン割引後の合計額がレシートに印字されることとなる。

【0028】S13は、クーポン券発行情報テーブル2を参照する。これは、合計額、売上商品、および日時などをもとにクーポン券発行情報テーブル2を参照し、割引対象となってクーポン券を発行する条件を満たすか調べる。

【0029】S14は、クーポン券発行の発行条件を満たすか判別する。YESの場合には、S15からS17でクーポン券を印字する。一方、NOの場合には、クーポン券6を印字することなく、S18に進む。

【0030】S15は、クーポン金額を算出する。これは、S14のYESによってクーポン券の発行条件を満たすと判明したので、その金額を算出する。例えば図5のクーポン券発行情報テーブル2を参照し、後述する図6の合計“¥5,150”の場合には、発行条件“買い上げ金額”に該当し、クーポン券金額の発行情報“買い上げ金額¥1,000単位に¥10発行”であるので、ここではクーポン金額“¥50”と算出する。同様に、他の発行条件に該当する場合にはその発行情報に従ってクーポン金額を算出する。

【0031】S16は、S15で算出したクーポン金額を表示する。ここでは、例えばクーポン金額“¥50”と表示する。S17は、クーポン券を印字する。これは、例えば後述する図6のクーポン券6に示すように、クーポン券

5

・クーポン金額“¥50”および当該“¥50”のバーコード

・有効期間などを印字する。

【0032】S18は、預かり／合計ボタンを押下する。S19は、用紙カットする。これは、右側に記載したように、レシート／クーポン券の別々のカット、あるいはレシート／クーポン券一体のカットを行なう。

【0033】以上によって、商品登録して売上集計した状態で、クーポン割引してレシート印字すると共に、売上集計額などをもとにクーポン券発行情報テーブル2を参照してクーポン金額を算出し、クーポン券を印字して発行する。これらにより、レシート5の印字に併せてクーポン券6を印字し、顧客に渡して発行することができ、POSやレジなどのハード構成をそのまま使用し、ソフトを追加してクーポン券を容易に発行することが可能となると共に、クーポン券による割引処理を簡易に行なうことが可能となる。

【0034】図4は、本発明の商品登録説明図を示す。これは、図3のS4およびS5の商品登録および小計ボタン押下の手順中で、クーポン券6によるクーポン割引を合計額から減算するときの手順である。

【0035】図4において、S21は、商品のバーコード登録または手打ち入力する。これは、顧客がカウンタに運んできた商品に付けられているバーコードをバーコードリーダーで読み取って登録、あるいはキーボードからキー入力する。

【0036】S22は、クーポン割引キー押下か判別する。YESの場合には、S23、S24のクーポン割引処理を行う。一方、NOの場合には、S25に進む。S23は、S22のYESでクーポン割引キーが押下されたことに続けて、顧客が提示したクーポン券のバーコードを読み取ったクーポン金額を入力、あるいはオペレータが手入力でクーポン金額を入力する。

【0037】S24は、S23でクーポン金額の入力に対応して、当該クーポン券によるクーポン割引額を表示する。S25は、小計ボタンが押下されたか判別する。YESの場合には、小計ボタンが押下されたので、図3のS6に進み、買い上げ金額集計・表示に進む。一方、NOの場合には、S21に戻り、繰り返す。

【0038】以上によって、商品登録時に併せてクーポン券によるクーポン割引額を表示して合計額から当該クーポン割引額を減算して合計額とする。そして、この合計額などをレシートに印字する。これらにより、商品登録時に併せてクーポン券の割引額を入力して精算することが可能となる。

【0039】図5は、本発明のクーポン券発行情報テーブル例を示す。これは、クーポン券を発行するための、

・発行条件

・クーポン券金額などの発行情報

・クーポン券の使用条件

6

を図示のように登録したものである。このクーポン券発行情報は、端末1の電源ON時などに上位装置7、更に本部システム9から送信されてきたものを登録したものである。ここで、

(1) 最上段の

・発行条件：買い上げ金額

・クーポン券金額などの発行情報：買い上げ金額¥1,000単位に¥10発行

・クーポン券の使用条件：なし

に該当する場合、例えば図6の合計“¥5,150”の場合には、クーポン券金額は“¥50”となり、図6のクーポン券6に示すように印字して発行する。

【0040】(2) 第2段目の

・発行条件：特定商品買い上げ

・クーポン券金額などの発行情報：特定商品A買い上げ時、¥50発行

・クーポン券の使用条件：B商品について、クーポン割引き

に該当する場合、特定商品Aを買い上げた時に、次回以降にB商品を買上げるときにクーポン割引“¥50”のクーポン券6を印字して発行する。

【0041】(3) 第3段目の

・発行条件：セールス期間

・クーポン券金額などの発行情報：93.10.1～93.10.31、無条件に¥20発行

・クーポン券の使用条件：93.10.1～93.11.30まで使用可能

に該当する場合、商品買い上げた時に、クーポン割引“¥20”のクーポン券6であって、使用有効期間が“93.10.1～93.11.30”の期間を明記したクーポン券を印字して発行する。以下同様である。

【0042】図6は、本発明のストアクーポン券の発行例を示す。図6において、レシート5は、商品名、単価、小計、消費税、合計を図示のように集計して印字したものである。

【0043】クーポン券6は、レシート5欄の合計（あるいは小計）をもとに、既述した図5のクーポン券発行情報テーブル2を参照して、該当する発行条件の発行情報に従い、算出したクーポン割引額や有効使用期間などを印字したものである。ここでは、クーポン割引額“¥50”および当該“¥50”のバーコードを併せて印字する。

【0044】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、売上金額集計時に、クーポン券発行情報をもとにクーポン券の発行額を算出し、レシート印字時に併せてクーポン券を印字して発行すると共に、売上金額集計時に併せてクーポン券の割引処理を行なう構成を採用しているため、簡易かつタイムリに自店に合わせたクーポン券を発行することができると共に、発行した当該クーポン券を

提示されたときにバーコードからクーポン割引額を読み取って合計額から減算してクーポン割引後の合計額を簡易に算出してレシートに印字することができる。これらにより、POSやレジなどの端末1のハード構成をそのまま、クーポン券発行機能3などを追加するのみで簡単にクーポン券の発行および発行後のクーポン割引処理を行なうことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理構成図である。

【図2】本発明の1実施例構成図である。

【図3】本発明の動作説明図である。

【図4】本発明の商品登録説明図である。

【図5】本発明のクーポン券発行情報テーブル例であ

る。

【図6】本発明のストアクーポン券の発行例である。

【符号の説明】

1：端末

2：クーポン券発行情報テーブル

3：クーポン券発行機能

4：印字機能

5：レシート

6：クーポン券

10 7：上位装置

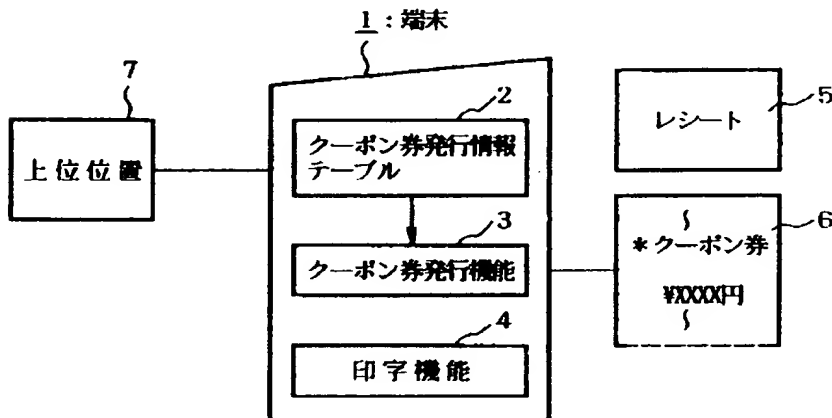
71：クーポン券発行情報

8：情報入力装置

9：本部システム

【図1】

本発明の原理構成図



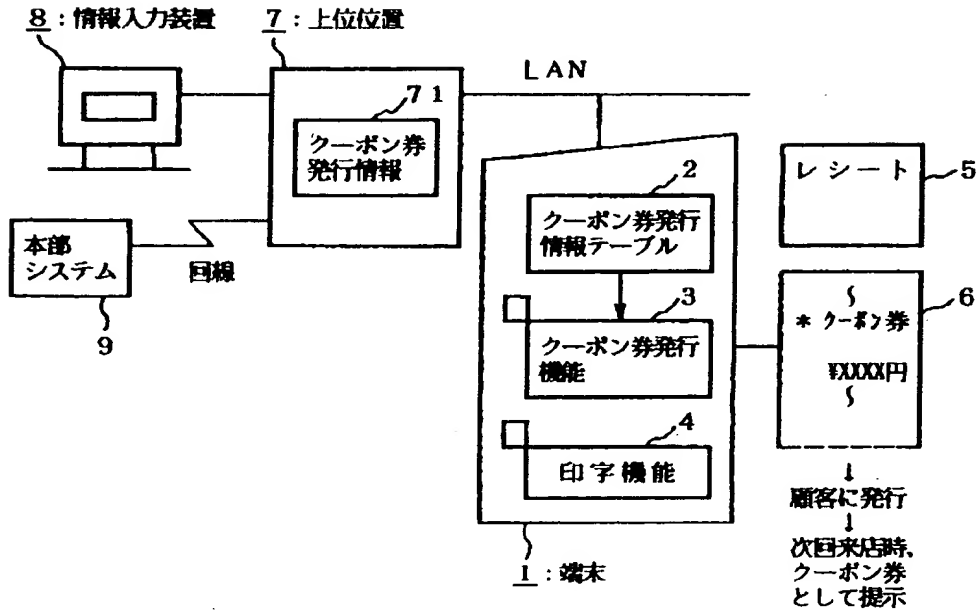
【図5】

本発明のクーポン券発行情報テーブル例

発行条件	クーポン券金額などの発行情報	クーポン券の使用条件
買い上げ金額	買い上げ金額¥1,000単位に¥10 発行	
特定商品買い上げ	特定商品A買い上げ時、¥50 発行	B商品について、クーポン割引
セールス期間	93. 10. 1～93. 10. 31 無条件に¥20 発行	93. 10. 1 ～93. 11. 31 使用可能
特定商品セールス期間	93. 10. 1～93. 10. 31 無条件に¥50 発行	A商品またはB商品またはC 商品よりどりみどり、3個買 上時に、クーポン割引
特定顧客	特定顧客が買い上げ時、金額¥1,000 単位に¥10 発行	

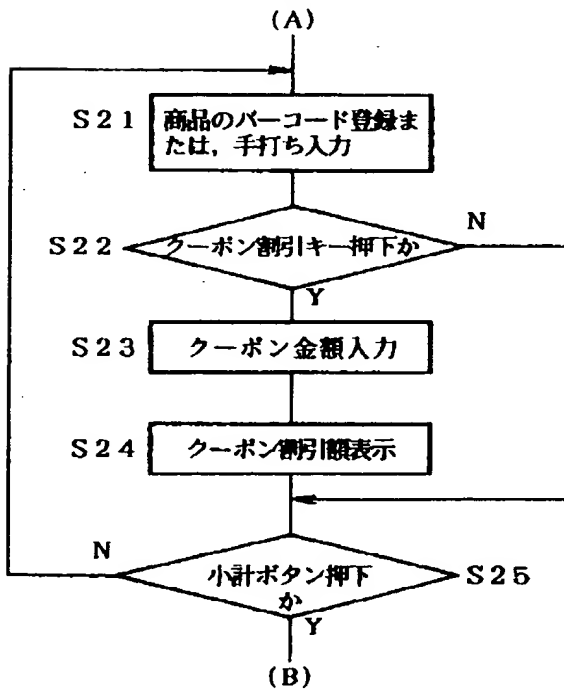
【図2】

本発明の1実施例構成図



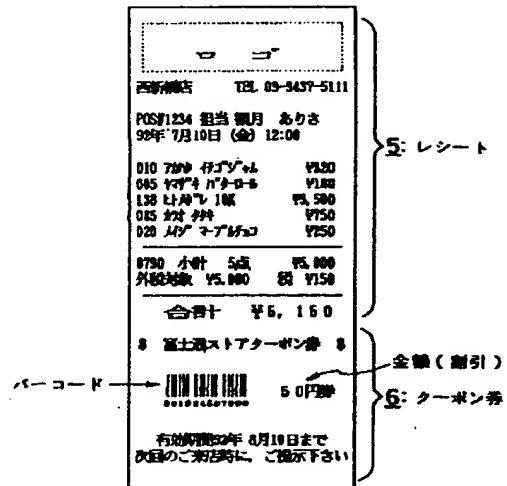
【図4】

本発明の商品登録説明図



【図6】

本発明のストアクーポン券の発行例



【図3】

本発明の動作説明図

